※令和３年度以前入学生用

学校番号	101

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現（看）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	国語表現（教育出版）						
副教材等	国語表現ナビ　（浜島書店） 国語必携　パーフェクト演習　三訂版　（尚文出版） 改訂版　楽しく書ける作文・小論文　入門編「四〇〇字で書こう」（桐原書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自分で勉強する態度を醸成し、国語の常識を習得して、国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、進路実現につなげる。また、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

２　学習の到達目標

・語彙を増やし、言葉遣いの基本を知ることによって、自分の考えを正しく適切に表現できる能力を身につける。
・文章を書いたり、発表したりする経験を積むことで、自分の考えを伝えるための基本的な文章力、表現力を習得する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深め、発展させている	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。		言葉の特徴やきまり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	授業態度 発問評価 課題提出率	発表 相互評価 自己評価	ワーク 小テスト 課題（小論文等） 定期考査		ワーク 小テスト 定期考査
上記の観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。					

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期前半	書いて伝える	文章表現の基本を身につけ、文のつなぎ方を考えて、整ったわかりやすい文を書く。 総合問題を解く演習を重ね、国語常識を身につける。	○	○	◎		○	a:意欲的に取り組み、期限を守って課題等を提出している。 b･c:話し言葉と書き言葉の違いや長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法などを理解し、あいまいな文を避けて整った文を書く。 e:きっちりとワークをこなしている。	観察 ワーク 小テスト 課題 定期考査

※令和３年度以前入学生用

一学期後半	小論文・レポート入門、自己PRと面接	小論文の基本的な書き方を理解し、意見を筋道立てて書く。 経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。また、他者の意見を聞いて、自分の長所を見つけ、事実やできごとをふまえて、効果的な自己 PRをする。 総合問題を解く演習を重ね、国語常識を身につける。	○	○	◎		○	a:意欲的に取り組み、期限を守って課題等を提出している。 b:適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをし、質問に対して、具体的で説得力のある答え方をする。 c:原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解し、自分の意見とは対立する意見を考慮しながら書くことや、反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。志望先について十分な情報を集め、説得力のある志望動機を書く。 e:きっちりとワークをこなしている。	観察 ワーク 小テスト 課題 発表 定期考査
二学期前半	小論文・メディアを駆使する	時事問題の考察を通して自分の意見を適切に書く。 相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。 初対面や目上の相手に対する電話での話し方を理解し、相手に応じた適切な言葉遣いや応対のしかたを理解する。 総合問題を解く演習を重ね、国語常識を身につける。	○	◎	○		○	a:意欲的に取り組み、期限を守って課題等を提出している。 b:目的や場に応じて、適切な言葉遣いで話すことの重要性や正しい敬語について理解し、適切な語を用いて話す。 c:さまざまな通信文の形式を理解する。 e:情報について理解し、メディアごとに立場や条件が異なり、情報の伝え方が異なることを理解する。 e:きっちりとワークをこなしている。	観察 ワーク 小テスト 課題 発表 定期考査
二学期後半	声とコミュニケーション	聞くこと、話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションについて新たな発見をする。 話すことの順序を考えて、わかりやすいショートスピーチをする。また、話し手が話しやすい聞き方をする。 総合問題を解く演習を重ね、国語常識を身につける。	○	◎	○		○	a:意欲的に取り組み、期限を守って課題等を提出している。 b･c:自分の考えをスピーチ形式で発表したり他の人の発表を聞いたりすることにより、ものの見方や考え方を広げる態度を養う。発表のしかたをふまえ、テーマについて自分の考えを文章にまとめて発表する。 e:きっちりとワークをこなしている。	観察 ワーク 小テスト 課題 発表 定期考査
三学期	会話・議論・発表	場面にふさわしい言葉遣いを考え、適切な言葉遣いでロールプレイをする。 視覚的資料を用いながら、効果的なプレゼンテーションをする。 総合問題を解く演習を重ね、国語常識を身につける。	○	◎	○		○	a:意欲的に取り組み、期限を守って課題等を提出している。 b・c:テーマに関する自分の意見を文章にまとめて述べる。他の人の意見を的確に聞き取ってその発言をふまえ、さらに深める発言をする。 e:ワークをこなしている。	観察 ワーク 小テスト 課題 発表 定期考査

※　**表中の観点について**　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解